

北海道大学病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 転倒・転落アセスメントシートの妥当性評価と新アセスメントシートの開発

[研究機関] 北海道大学病院 医療安全管理部

[研究責任者] 南須原 康行（医療安全管理部・准教授）

[研究の目的]

日本では、高齢化、医療の高度化によって、入院患者さんの転倒・転落が増加しています。そのため、北海道大学病院では、入院時に「転倒・転落アセスメントシート」を用いて、転倒・転落の危険度を予測し、それに基づく説明・対応を行っております。しかし、今までに、それが実際の転倒・転落をどのくらい正確に予測しているかの検証は行われていませんでした。そこで、当院で用いられているアセスメントシートの妥当性の評価を行い、その結果によっては、より正確かつ簡便に転倒・転落の予測が可能なアセスメントシートの開発につなげたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成18年4月1日から平成23年3月31日の間に北海道大学病院に入院した全ての患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査・手術内容、治療内容、入院時の歩行状態や身体機能の状態および認識力、過去の転倒・転落の有無、入院期間内の転倒・転落の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 医療安全管理部 担当医師 南須原 康行（なすはら やすゆき）

電話 011-706-7030 FAX 011-706-6996